

平成30年度 施策評価シート（平成29年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち
施策 02 緑を生かした景観の形成
主管課： 都市計画課
関係課： 経済課、建設課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市内全域	市民が美しいと感じる景観が維持・創出されるまちをつくる。

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

緑被率（公園・樹林地・農地・草地・水面）（％）都市計画課					
基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
62.00	61.50	61.50	60.70	0.00	60.00
向上指針	上がると良い	（状況）前年度との変化はなく、基準値からは0.5ポイント減少していますが、目標値は上回っています。 （原因）市街化調整区域について、保存緑地の指定や緑地の取得を進め、愛宕谷津の保全対策を行うなど、山林・農地等の保全が図られているものと考えられます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

市内には、緑を生かした美しい景観が十分にあると思う市民の割合（％）都市計画課					
基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
75.40	75.30	75.90	75.20	0.00	75.00
向上指針	上がると良い	（状況）前年度より0.6ポイント、基準値から0.5ポイント増加し、目標値は上回っています。 （原因）保存緑地の取得や愛宕谷津の保全、緑を生かした松並土地区画整理事業などの面整備に伴う地区計画等の活用により、計画的にまちづくりを進めていることが、緑を生かした美しい景観があると感じているものと考えられます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	496,117	647,627	682,829	742,614	747,310
人件費	0	25,231	28,755	0	0
トータルコスト	496,117	672,858	711,584	742,614	747,310

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
01 美しい都市景観の形成	低下					97	1,822	2,780	2,959	2,959
02 緑地の保全	横ば					3,076	121,119	185,149	216,518	216,176
03 公園・街路樹等の維持管理	向上	横ば				491,538	522,607	493,944	521,985	527,023
99 施策の総合推進						1,406	2,079	956	1,152	1,152

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

公園・緑地について、市民の財産であるという意識を高め、協働で維持管理ができる体制を構築します。 愛宕谷津において、更に借地の拡大を図り、原風景の保護を進めていきます。 総合的な視点で景観行政を進め、良好な景観の創出や景観についての市民意識の向上を図っていきます	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

大柏・野木崎地区の斜面緑地や庁舎周辺の保存緑地を取得するとともに、愛宕谷津の借地を行うなど、緑地保全、原風景保護を進めています。 今後、取得した緑地について、市民が活用（享受）できる市民の緑地であるという意識を深め、協働で維持管理ができる体制の構築を目指します。 また、景観形成事業に屋外広告物管理事業を統合し、より総合的な視点で景観行政を行い、良好な景観の創出や景観に関しての市民意識の向上を図ります。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

次年度の方方向性（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

緑を生かした景観形成の一環として、グリーンインフラの取組により、稲戸井調節池、愛宕谷津及び立沢等の緑の拠点について、保全及び整備を計画的に実施する。 景観意識の向上を図るため、景観に関する分かりやすいパンフレットを作成し、市民への周知に努める。 公園の維持管理を効率化するため、維持管理の調査研究と市民力を生かした公園維持管理団体等の拡充に努める。	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持